

## 令和元年8月 報道機関との定例懇談会 顛末

1 日 時 令和元年8月5日（月）13：00～13：35

2 会 場 市長応接室

3 参加者 報道機関：

岩手日報社久慈支局 及 川 純 一 支局長

デーリー東北久慈支局 岩 淵 修 平 支局長

I B C岩手放送八戸支社 小野寺 久 穂 支社長

ダナスプランニング 高 橋 新 記者

エフエム岩手久慈支局 八重櫻 真 一 支局長

NHK 盛岡放送局宮古支局 下 京 翔一朗 記者

市側：市長、副市長、総合政策部長、地域づくり振興課長、広域道の駅整備推進室長、広報統計係長

### 4 懇談の概要

広域道の駅整備事業、全国ふるさと甲子園出場と新商品の開発、市総合防災公園の開園、演劇公演「私の恋人」、久慈市笑顔のフォトコンテスト2019について市長が説明したほか、8月の行事予定、イベント情報などについて報道機関にお知らせした。

デーリー東北 総合防災公園の広場の一部が先行して開園しているが、普段の利用状況は。  
地域づくり振興課 個人ではそれぞれ利用しているので把握していない。団体からは9月の利用予定で1件、申込みがある。

NHK 盛岡放送局 防災講演会のテーマはどのようなものか。  
総合政策部長 全国の自然災害や防災対策の事例を紹介する。  
市長 平成28年の台風10号では大きな被害を受けた。防災では地域での共助が欠かせないが、自主防災組織が市内の町内会ではまだ半分ぐらいしか結成されていない。災害では、自助共助が大事になってくるため、毎年1回、防災への意識づけをするため開催している。

デーリー東北 台風10号被害から3年が経過したが、災害復旧工事は県発注工事が完了、市においても工事発注がほとんど済んでいる。ハード整備が進んできた中、新たに県に求めていることと、市として力を入れていきたいことを伺いたい。  
市長 自然災害は、大型化している。国・県にはハード整備を、市では避難体制をつくることを進める。県管理の河川は、河道掘削を早めに行っていただきたい。また、県には財源確保をお願いしたい。

岩手日報 三陸沿岸道路の全線開通が2年後ということだが、三陸国道事務所では開通時期を明確にしていない。開通時期のお知らせが自治体にはあるか。  
市長 国土交通省からは予定どおりの時期で開通すると伺っている。道の駅の開業はできるだけ早くと考えている。

岩手日報 出店希望者の調査をしていると思うが状況は。  
道の駅整備推進室長 出店、出荷を希望する業者を対象に説明会を実施しているが、広域から21社の

参加があった。令和2年2月まで募集している。説明会も希望に応じて開催していきたい。

岩手日報  
道の駅整備推進室長 当初の計画から変更もあるようだが、概算事業費は12億3千万円に変更ないか。事業者からの提案を受けて最終的には決定するが、今のところは、土地・備品代を除き、概算事業費は12億3千万円としている。

デーリー東北  
道の駅整備推進室長 道の駅のプロポーザルの選定委員会の委員は、久慈市役所の庁内から選ばれるのか。

道の駅整備推進室長 外部から様々な分野の方の参加を考えている。また、広域4市町村の方も入れた委員構成としたい。

NHK盛岡放送局  
地域づくり振興課長 久慈市で暮らす・働く体験事業の申込状況は。

8人から申込みがあった。関東圏から、大学生・専門学生のみ参加。今回は社会人からの申込みはなかった。

デーリー東北  
総合政策部長 8月22日開催のアンバーホールの演劇は、まだチケットがあるか。

300枚程、残席となっている。PRにご協力をお願いします。